

令和6年度 百々小だより 前期学校評価特別号

【学校教育目標】 自分も友達も大切にし 笑顔あふれる学校
～認め合い 支え合い 高め合える百々っ子～

京都市立百々小学校
校長 山下 博典



◎「よく出来ている」「大体できている」との回答結果

設問 (児…児童 保…保護者 教…教職員)		(%)
児	学校は楽しいですか。	85.9%
保	子どもは、楽しく学校に行っている。	94.4%
教	子どもは、楽しく学校生活を送っている。	100%
児	学校のきまりや約束を守っていますか。	87.6%
保	子どもは、学校のきまりや約束を守っている。	94.8%
教	子どもは、学校のきまりや約束を守っている。	53.3%
児	相手に届くあいさつをしていますか。	81.2%
保	子どもは、明るく元気なあいさつができる。	81.6%
教	子どもは、明るく元気なあいさつができる。	93.3%
児	自分や人を大切にしていますか。	92.7%
保	子どもは、自分や人を大切にする気持ちや態度が育っている。	93.6%
教	子どもは、自分や人を大切にする気持ちや態度が育っている。	80.0%
児	家でも学校でも時間を守って活動することができますか。	84.0%
保	子どもは、時間を守って活動している。	78.8%
教	子どもは、時間を守って活動している。	60.0%
児	先生や家族に困ったことを相談したり、学校の出来事などを話したりしていますか。	80.2%
保	子どもは、困っていることや学校の出来事などを家で話している。	85.2%
教	子どもは、困っていることを相談したり、出来事を話したりしている。	93.3%
児	百々の地域のことがすきですか。	91.8%
保	子どもは、百々の地域のよさを感じている。	83.2%
教	百々の地域のよさを学べる教材・単元づくりをしている。	73.3%
児	家や学校などで進んで読書をしていますか。	74.2%
保	子どもは、家で進んで読書をしている。	28.8%
教	子どもは、学校で進んで読書をしている。	40.0%
児	自分のめあて(学級目標、学習、生活)に向かって努力をしていますか。	85.9%
保	子どもは、いろいろな目標に向かって努力している。	76.8%
教	子どもは、目標をもち、その達成に向けて努力している。	86.6%
児	家で宿題などの家庭学習をきちんとしていますか。	90.1%
保	子どもは、宿題などの家庭学習をきちんとしている。	90.4%
教	子どもは、宿題などの家庭学習をきちんとしている。	80.0%
児	授業でわかったり、できるようになったりしていますか。	93.5%
保	子どもは、分かるまで学習に取り組んでいる。	68.8%
教	子どもは、分かるまで学習に取り組んでいる。	60.0%
児	人の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと話していますか。	82.9%
保	子どもは、人の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと話している。	73.6%
教	子どもは、人の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと話している。	40.0%
児	学習の準備を自分できちんとし、忘れ物をしないように気をつけていますか。	89.6%
保	子どもは、学習の準備を自分できちんとしている。	78.8%
教	子どもは、忘れ物をしないように気をつけている。	46.6%
児	早寝・早起き・朝ごはんを心がけ、健康に気をつけていますか。	77.3%
保	子どもは、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身についている。	80.8%
教	子どもは、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身についている。	60.0%
児	日頃から外遊びや運動をしていますか。	83.4%
保	子どもは、日頃から外遊びや運動をしている。	72.4%
教	子どもは、日頃から外遊びや運動を積極的に行っている。	73.3%

1学期末に学校評価のアンケートを実施いたしました。その結果と考察をお知らせいたします。これらの結果を参考に今後の学校教育活動にいかしていきたいと思います。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

<結果の考察>

◎きまりを守っているかについて

<現状>

- 「自分から進んで挨拶をする」については、百々パトロールの方々やPTA のあいさつ運動や保護者の方々の声かけ、そして委員会活動の計画委員会による“朝のあいさつ運動”的取組もあり、徐々にできるようになってきていると感じている。一方で「丁寧な言葉遣いをする」「廊下を歩く」ことに関しては、できていない場面を見かけることがあった。

<対策>

- 「丁寧な言葉遣いをする」ことに関しては、身近な大人が(教職員・保護者の方々・地域の方々)が手本となり、皆で関わっていく必要がある。私たち教職員も、一人一人の子どもにしっかりと伝わるような言葉遣いを心がけ、粘り強く伝えていく必要があると感じている。
- 「廊下を歩く」については、走るとどのような危険があるのかを子どもたちに考えさせる必要がある。今年度、学校として取り組んでいる学級会で議題に取り上げ、クラスで話し合うことも一案である。また、ゆとりのある時間編成や見通しが持てるような準備物の提示等、子どもが考えて行動できるような工夫をしていくことも重要である。

◎学習について(わかるまで取り組む)

<現状>

- ほとんどの子どもたちは、授業でわかったり、できるようになったりしていると答えている。一方で保護者、教職員は分かるまで学習に取り組んでほしいという願いをもっていることがわかる。授業では、集中して学習に取り組み、発表をしたり、話し合ったりしてがんばっている子が多いが、学習の定着度においては課題が残っていることが現状である。

<対策>

- よりわかりやすい授業への改善(楽しいと感じるような工夫)、わかりづらい子への支援を軸に、学ぶ良さを感じられるような授業づくりを進めていきたい。また、学習進度に応じた家庭学習(宿題)を行い、保護者の方々と連携し、学習習慣を身に付けられるようにしていきたい。

◎人の話を聞き、自分の考えを話しているかについて

<現状>

- 児童アンケートでは、約83%がしっかりと話を聞いていると答えている。多くの児童は、話を聞く態度が育ってきてていると感じている。しかし、実態としては話を最後まで聞くことができない場面や、自分の考えを話すことが苦手な児童も見受けられる。

<対策>

- まずは教職員が手本となり、端的に伝えることを心がけていきたい。子どもたちがイメージをもてるよう具体物を用いたり、支援を行ったりし、理解度を高められるような工夫を行っていく。また、子どもたちが聞いてほしい時にしっかりと聞き、アドバイスや指導を行い、自己有用感を感じられるような関わりを行っていきたい。